



季刊 かばごん (1997 ふゆ)



平成 9年 1月16日発行

当院のオープンから3ヶ月近くたちました。こころで医院のことや医療のことをもっと知っていただくために、年に4回「季刊 かばごん」を発行していくことにしました。

常に初心に帰るために、ここに当院の理念を掲げておきます。



- (1) ともに悩み、ともに苦しみ、ともに生きる
- (2) 第一線の医療を行う
- (3) 医療と福祉の架け橋となる

ちょっとかっこうが良すぎるかもしれませんが、いつでも、誰でも、どんなことでも診ていく医院をめざしています。

【くすりの飲み方】

当院では、小児のこな薬やシロップの場合、くすり袋に8時間毎に服用するように書いてありますが、これは食事と関係なく一日3回服用してもらう意味ですので8時間にこだわる必要はありません。だいたいの目安として、起床時、3時頃、ねる前に服用してください。

【近頃、よくみられる病気】

この冬は、インフルエンザ（A香港型）が早くから流行しています。冬休みをはさんで流行が下火になりましたがまだ油断はできません。別の型のウィルスがはやる可能性もあります。症状は高熱、頭痛、咽頭痛、ふしぶしの痛み、嘔吐などで発熱は3～5日間つづき、二つの山があることもしばしばです。熱が下がってから、せきがひどくなることが多いようです。予防はうがいと手洗い、かかったら、休養と睡眠を十分とりできるだけ消化の良いものをたべること、食べられなければ、水分や流動物を摂ることです。

【職員紹介】

なまえ	職	趣味・特技	血液型	抱負
加畑 寿明	(医師) ;	テニス、仕事 音楽、読書 着付け 生け花、読書	B ? A O	足場を固めて健康第一 (*) 下記 好奇心を持って趣味をふやすこと 裕優とマイペースで

(*) ; お陰様で、かばた医院が開院して早3ヶ月になります。スタッフ一同、新しい出会いで緊張の連続でしたが“遅くとも正確に”をモットーにがんばってきました。日々新たな気持ちで、親しみやすく清潔で明るい医院を保ち、皆様のお役に立てますように願っています。

次号からは医療制度の矛盾や病気の話を中心に話題を提供していきます。乞うご期待!!
なお今月から、毎木曜日午後は「うきた病院」で小児科を担当しています。



季刊 かぼこん (1997 はる)



H. 9. 3. 20 発行

北陸の長い冬もようやく終わりを告げ、待ちに待った春の到来です。診察室でみられる病気も少しずつ変わってきました。とくに今年は花粉症の当たり年とか…。アレルギーのある人にとっては辛い季節になりそうです。

[診療報酬のこと]

当院で採用している小児科外来診療料について説明します。待合室にも貼りだしてあるとおり、3歳未満の小児については検査や治療内容にかかわらず一定の代金です。すなわち、窓口での負担金は初診 1920 円、再診 1410 円となります。くすりの多少、検査・治療内容の多少に左右されないこの方式に、とまどう方もいらっしゃるかもしれませんが、不採算の小児科への救済策として導入されました。また、趣旨こそ違いますが、老人の入院費や老人慢性疾患の外来医療費にもこの包括化（いわゆる”まるめ”）が適用されつつあります。今後もこの方式は、徐々に拡大されると思います。

[最近よくみられる病気]

猛威をふるったインフルエンザは、ほとんどみられなくなりました。代わってロタウィルスをはじめとするウィルス性胃腸炎や花粉症が目立ちます。ロタウィルス感染症は乳幼児に発熱・嘔吐・下痢を起こし、便が白っぽくなるのが特徴です。脱水症に陥り、点滴を必要とすることもまれではありません。おとなにも感染します。

花粉症は、ある日突然はじまります。症状は、目のかゆみ・鼻みず・鼻づまり・のどのかゆみ・微熱などです。鼻かぜが長びいている場合、花粉症のことがありますので、鼻みずの好酸球を調べると診断がつきます。これは綿棒で鼻みずを採るだけの簡単な検査です。当院でも十分対応できますのでご相談ください。

[予防接種のこと]

当院では、はしか・風疹・三種混合・二種混合・日本脳炎ワクチンは、常備しています。水ぼうそう・おたふくかぜワクチンは、予約が必要です。水ぼうそうとおたふくかぜは、任意接種ですので費用はそれぞれ 8,000 円、6,000 円となります。この2種類のワクチンは、免疫獲得率がやや劣ることと、おたふくかぜについては 1,000 ～ 2,000 件に 1 例起こる無菌性髄膜炎のため定期予防接種からはずされています。

[くすりの知識]

くすりの副作用やくすりとかすりの相互作用についての情報は重要です。当院ではできるだけ情報を公開するように努力しています。なぜこのくすりを飲む必要があるのか、少しでも疑問があれば遠慮なくお聞きください。医者からの一方的なおしつけではなく、患者さんを中心にしてみんなでよりよい医療を探していきたいと思います。

[伝言板]

☆毎週木曜日午後ほうきた病院で小児科を担当しています。午後 7 時には帰宅しています。
☆小児の薬袋に 8 時間ごとの服用と指示してある場合、食事と関係なく 1 日 3 回という意味ですので、起床時・午後 3 時頃・ねる前というような飲み方でよろしいです。



季刊 かばごん (1997 夏)

H. 9. 6. 16 発行



あじさいの似合う季節になりました。生命あふるる夏も、もうそこまで。夾竹桃、ひまわり、あさがおの花々が待っています。

最近の気温は、暑くなったり寒くなったりで身体の調子がおかしくなりがちです。5、6月に集団カゼが流行するのは珍しいことです。現代人が環境の変化についていけないのか？ウィルスが強くなっているのか？環境をコントロールしてきた人間は、その代償として自分の適応力を弱めてしまったのかもしれませんが。

[最近よくみられる病気]

下痢や口内炎を伴う夏カゼ（ヘルパンギーナ、手足口病）が目立ちはじめました。咳のひどいかぜもあります。リンゴ病（伝染性紅斑）もちらほら。水ぼうそう（水痘）と、おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）も目立ちます。この2つは定期予防接種からはずされておられ、集団の免疫力低下が流行の原因でしょう。より優れたワクチンの開発が待たれます。溶連菌感染症も時々みられます。高熱、咽頭痛、発疹が主症状で典型的には莓舌がみられます。それらがなくても、鮮紅色の咽頭所見や軟口蓋（のどの奥）の小膿疱の存在などから疑われます。これは、A群β溶血連鎖球菌による感染症で昔は猩紅熱として恐れられたのですが、今はほとんどが外来で治療可能です。しかしまれに腎炎やリウマチ熱の引き金になりますので、症状がおさまっても約10日間の抗生剤服用が大切です。当院では迅速診断検査をしていますので診察時に確定診断が可能です。細菌の培養検査では結果が出るまで数日を要しますので、たいへん便利になりました。

[医療保険法の改正について]

医療保険法の改正が今年9月に行われそうです。薬剤の二重負担、健保本人の2割負担、老人医療費の一部負担金増と自己負担が多くなります。決して医療機関が増収となるわけではなく、保険者である社会保険基金や国保団体連合会の負担が軽くなるだけです。かといって、保険料の減額はありません。これから訪れる超高齢化社会を前に国は医療費を削減することばかりを考えています。だんだん安心して医療を受けられない世の中になっていくなんて、どこか間違っていないですか。この他、脳死臓器移植法や介護保険法といった医療関連の重要法案が国会で審議中です。

[当院の駐車場について]

駐車場が狭くてたいへんにご迷惑をおかけしています。[]の駐車場が当院側の4台分、am10時～pm4時の間は駐車可能ですので御利用下さい。pm6時近くになりますと当院前の道路が渋滞することがありますので早めにお越し下さい。また、月曜日午前中は混雑することが多いようですので、乳児検診や予防注射は他の曜日がよいように思います。

[すこやか検診について]

金沢市のすこやか検診が5月から始まりました。5、6、7、9、10月の5ヶ月間です。ですので早めに受診して下さい。当院では基本検診、肝臓検診、肺がん検診を担当しています。



[食中毒に注意]

梅雨どきから夏場は食中毒の発生しやすい時期です。とにかく、うがい、手洗いの励行と、生ものは食べないこと、肉を切ったまな板、包丁をそのまま他の調理に使わないことが最も重要です。O-157 を代表とする腸管出血性大腸菌は合併症の溶血性尿毒症症候群や脳症を起こすと死亡率が高くなります。まず予防が第一ですが、もしも激しい下痢や腹痛が起きたら早めに受診して下さい。

[伝言板]

☆毎週木曜日午後ほうきた病院で小児科を担当しています。午後7時には帰宅しています。

☆小児の薬袋に8時間毎の服用と指示してある場合、食事と関係なく1日3回という意味ですので、起床時・午後3時頃・ねる前というような飲み方でよろしいです。

☆各薬袋にくすりの副作用や相互作用の情報を入れてありますので、参考にして下さい。



季刊 かぼこん

(1997 あき)



いつのまにやら、朝晩の冷え込みを感じる季節になりました。田んぼのあぜ道に咲く彼岸花の鮮やかな朱色にきたるべき冬の厳しさを思います。夏の楽しい思い出を胸に、実りの秋に向けて体調を整えましょう。当院もお陰様で10月26日をもって1周年を迎えることができました。地域の皆様のお役に立てますよう日夜努力していますので、今後ともよろしくご指導のほどをお願い申し上げます。

【最近よくみられる病気】

乳児の突発性発疹が目立ちます。この古くからみられる病気の病原体は1988年にやっと見つかりました。その名もHHV-6、ヘルペス属のウィルスです。ヘルペス属のウィルスはヒトにいろいろな病気を起こします。水痘、帯状疱疹、伝染性単核症、サイトメガロウィルス感染症、単純ヘルペスウィルス感染症、いずれもなかなか手ごわい病気です。

いわゆる夏カゼのヘルパンギーナや手足口病も乳幼児にみられます。これらは、口内炎を伴って痛みのために、食べたり飲んだりできなくなるのが困ります。

季節の変わり目には、気管支喘息やアレルギー性鼻炎・結膜炎が目立ちます。カゼの後、咳や鼻水がなかなか止まらない人も多いですが、そのような方は、アレルギー体質があるのかもしれない。

インフルエンザはまだ流行の報告がありませんが、急に高熱を出し、頭痛、ふしぶしの痛み、嘔吐を伴うカゼは、インフルエンザかもしれません。近々、大流行が予測されているだけに、用心しなければなりません。

【健康保険法改正のこと】

本年9月から健康保険法が改正され、健保本人の自己負担、70歳以上の自己負担、6歳以上の薬剤二重負担による自己負担がそれぞれ増額されました。詳しくは、当院の掲示をお読み下さい。今後、医療制度改革と称してさまざまな手段で政府は、医療費を抑制しようとしています。大阪の安田病院事件など破廉恥な医者は断固排除すべきですが、高齢化社会を生み出したこと自体、日本の医療のすばらしさを物語っているのです。この優秀な国民皆保険制度を揺るがすわけにはいきません。行政改革に名を借りた政府の横暴にははっきりと反対の意志表示をしたいと思います。



【予防接種外来について】

待合室に掲示してありますとおり、日曜日の午前10時から12時の間に予防接種外来を行っています。カゼの多い季節、予防接種に来院して病気をもらって帰られてはいけません。どうぞ遠慮なく、この時間帯を御利用下さい。

[伝言板]

- ☆小児用薬袋に、8時間毎服用となっている場合、厳密に8時間とする必要はありません。食事に関係なく1日3回服用して下さい。たとえば、起床後、午後3時頃、寝る前といった具合です。もちろん毎食後でもけっこうです。
- ☆毎週木曜日午後ほうきた病院で小児科を担当しています。携帯電話に転送されるようになっていますので、急用の方は、265-5700に電話して下さい。
- ☆駐車場が狭くて、たいへんご迷惑をおかけしています。とくに月曜日や祝日明けの日は混雑することが多いようです。くれぐれも、事故の無いようにご注意をお願い申し上げます。なお、午前10時から午後4時の間は、 の当院寄りの4台の駐車場も御利用いただけます。
- ☆すこやか検診は10月中で終わりです。お早めをお願いします。火・水・金の午後早めの時間がお待たせすることが少ないようです。

